

たけだしやかたあと みそぐるわ
史跡武田氏館跡（味噌曲輪地点）（甲府市教育委員会）

味噌曲輪は、武田氏館跡西曲輪に北接して築かれた館の附属施設です。

西曲輪の北柵形虎口の土橋を渡ると、その正面に西曲輪を守るために築かれた馬出と呼ばれる施設が存在します。調査は、馬出の構造・規模を確認する史跡整備の資料収集に伴うものです。

調査の結果、石塁が良好に残っており、おそらく武田氏館跡大手石塁と同様に「コ」の字状の平面形態であると思われます。また、石塁の門跡に伴う礎石を1基検出しました。石塁は武田氏滅亡後の織豊期の構築物と考えていますが、直下で堀跡を確認し、大手と同様に三日月堀の形態を呈すか、継続して調査を令和元年度に実施しています。



味噌曲輪地点全景

Ⅲ 遺跡を生かす・伝える

日本遺産 星降る中部高地の縄文世界 ～数千年をさかのぼる黒曜石鉱山と縄文人に出会う旅～



山梨・長野両県には縄文時代の遺跡が数多く存在し、芸術性の高い縄文土器やユニークな土偶が多く知られています。また、長野県星叢峠の黒曜石鉱山から掘り出された黒曜石はとても良質で、日本各地に広がりました。

中部高地では、太古から変わらぬ雄大な景観の中、縄文人が黒曜石を運んだ道をたどり、山麓の縄文ムラを訪れることができます。命の躍動を表現した母なるヴィーナスや森に潜む動物をモチーフとする造形に優れた原始芸術に出会うでしょう。数千年の昔より雄大な自然と向き合う伝統から生み出された様々な道具は、現代に通じるものがあるかもしれません。自然とともにあった縄文人の世界に思いを馳せ、日本文化の源流にタイムスリップしてみませんか？

今回は、作成した説明パネルと遺物を展示しています。この他にもグッズやイベントなど様々な計画があります。公開される日をお楽しみに！



酒呑場遺跡の深鉢形土器（重文）